

# 水道水の出入り口「水抜き栓」

道外から越してこられたお客様には馴染みがないかと思いますが、冬の凍結防止のため、各ご家庭には水を落とす『水抜き栓』が設置されています。長期の旅行や引越しの場合、必ずこの水抜き栓で水を落としてください。

トイレや洗面台の床上に水抜き栓がある場合は、本体のハンドルを手動で動かします。建物の2階以上になりますと、壁にリモコンが付いた『電動水抜き栓』が多く使用されています。



この電動水抜き栓で注意していただきたいのが、停電復旧時に自動で水抜き状態となってしまう製品があることです。また、水抜きのスイッチを誤って押してしまうこともありますので、急に水が出なくなった場合には、まず水抜き栓を確認してみてください。

予防策としておすすめなのが、通水状態でコンセントを抜き、リモコンの電源を切ってしまうことです。小さなことですが節電にもつながります。

## 水道の凍結にご注意

思いがけない水道管の凍結によって、水が使えなくなるばかりでなく、修理代などの思わぬ出費を防ぐためにも、就寝前や寒くて風の強い日中のちよつとした外出のときでも、水を落とすことをおすすめします。

### 水の落とし方

蛇口を開け、水を流したままにして水抜き栓のレバーかハンドルを操作すると水が抜けていきます。新しい建物では電動式が多く、水抜きボタンを操作することで水道管の中の水が落とせます。

日頃から水の落とし方を確認しておく事が大切です。

### トイレの水の落とし方

タンクのハンドルを「大」の方向に回し、タンクの水を出しながら水抜き栓を閉めてください。水の入れ方は、タンクのハンドルを軽く動かしてから水抜き栓を開けてください。

### 水落ちの確認

蛇口に手を当てると吸い付けられる感じがします。また、水を入れたコップを蛇口に当てると水が吸い上げられます。

### もし水道管が凍結したら

●蛇口や管にタオルを巻いて、ぬるま湯をかけてください。

●床下の部分に解氷用パイプが取り付けられていれば、シーリングプレートを外し、ゆっくりぬるま湯を入れると床下の解氷ができます。

※電気解氷機や蒸気解氷機を使用して解氷する場合、正しい使い方をしないと事故の危険性がありますので、なるべく苦小牧市指定の給水装置工事業者に依頼してください。

